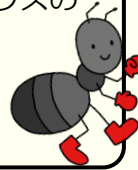


暑さが和らぎ、身体を動かすことが心地よい季節になり、子どもたちは園庭遊びや散歩を満喫しています。靴を履いて自分の足で歩くことを楽しんだり、砂場や大学の森で砂や落ち葉を手で摘まんだりし、自然の恵みにたくさん触れて遊びました。友だちとの関わりが増え、遊んでいる様子を見て同じことをしようと真似る姿や、降園時にお互いに手を振る姿も見られています。生活面では、食前にエプロンを着けようとしていたり、保育者にタオルを渡してやってもらおうとしていたり、自分でやってみようとする姿も増えてきました。これからも友だちや保育者との関わりを大切にゆったりとスキンシップを取ることや、子ども同士のやりとりを見守りながら過ごしていきたいと思ひます。

10月は秋の自然を感じながら、散歩に出掛けたり、幼児クラスの運動会の様子を見に行ったりし、子どもたちの『楽しそう!』『やってみたいな!』という気持ちを大切にしながら過ごしたいと思ひます。



滑り台マットを一人で登って降りるようになったAくん。

保育者が「すごいね、できたね!」と拍手をすると周りの友だちも一緒に喜んでいました。その様子を見ていた最近歩き始めたBくんも『ぼくも見てー!』と言わんばかりの表情で歩く姿を見せてくれ、みんなで成長を喜び合うひと時になりました。AくんもBくんも満面の笑みになり、とても嬉しそうでした。

心地良い風が吹くようになり、秋の訪れを感じられる季節となりました。9月は久しぶりの戸外遊びで、『ありさん、さがそ』『だんごむしいたね』と虫探しをしたり、以前は落ちてなかった木の実を発見し集めたりと、友だちや保育者と一緒に自然に触れて楽しみました。また、自分で靴や帽子を身に付けようとしていたり、自分のマークの靴箱に片付けたりする等、成長を感じる姿も見られました。制作では絵の具遊びを楽しみ、それぞれ素敵なキノコやどんぐりを表現しました。チューブから絵の具を出す時や画用紙に現れた模様を見た時に、『うわぁ』『お〜!』と嬉しそうなお姿がかわいらしかったです。また、友だちが制作を楽しむ様子を保育室からひょっこり顔を出して覗き、『〇〇ちゃんもする!』と楽しみにして、期待に胸を膨らませる姿も見られました。

10月は大学の森へ散歩に出かけ、秋の空気を肌で感じながらどんぐり等の自然物にたくさん触れる機会を持つ予定です。その中で一人ひとりの発見や感じた喜びを大切にしていきたいと思ひます。



『どんないろがすき』のうた絵本が大好きな子どもたち。絵本が始まると体を揺らしながら楽しそうに見ています。保育者が「どんな色が好き?」と歌ったあとには、『あかー!』『ゼーんぶー!』と、元気いっぱいな声で歌ってくれるかわいいひよこ組の子どもたちです!

夏の暑さも和らぎ、吹く風の涼しさに秋の訪れを感じる季節になりました。9月は寒天遊びや片栗粉遊び、フィンガーペインティング、ローラーでのぬたくり(絵の具遊び)など、様々な造形遊びを通して思う存分表現することや色の変化を楽しんだりしました。園庭では、バッタを見つけて手の上に乗せたり、たくさん落ちているクスノキの実をカップいっぱい集めたりして、秋の訪れを感じながら元気いっぱい遊んでいます。友だちとの関わりもさらに広がり、子ども同士で遊びに誘って楽しむ姿がたくさん見られるようになりました。

10月は秋本番です。天気の良い日には大学の森や近隣の公園に出掛けたりして、豊かな自然の中で心も体も動かしながら過ごしたいと思ひます。

また、生活面においては子どもの『自分でしたい』という気持ちを大切に、見守ったり関わったりし、『できた!』という喜びや一つひとつの成長にまなざしを向けていきたいと思ひます。

台風一過の乳児園庭で、じーっと空を見上げていた子どもたち。

保育者「何見てるの?」
子ども「くも、うごいてる!」
びゅーんってめっちゃはやい!!」

空を流れる雲の速さに触発され、雲の速さに負けないように園庭で元気に走っていました。

